わたし、アナタ、min-na　　No.7

そのすがたがうれしい

国際交流編(2)

2021年　4月　27日　市立札幌開成中等教育学校便り
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629
HP http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/

Online、作品募集による国際交流が始まっています

第18回日台文化交流青少年スカラシップ2021

「日本の学生を対象に台湾をテーマにした作文を募集。台湾の歴史と現状について学び、日本と台湾の未来について考える学生を応援し、将来の日台有効に貢献する人材を育てることを目的」として実施されるものです。(HPより抜粋) 中学生から参加できます。1階国際交流コーナーにポスター掲示しています。応募用紙はHPから。(国際交流コーナーに数枚あります)

テーマ：台湾に関すること
主催　：産経新聞社・日本工業新聞社
共催　：台北駐日経済文化代表処
〆切　：2021年5月31日(月)必着
www.sankeisquare.com/scholarship

＊応募は各自で行いますが、応募したことを国際担当:三角:藤井まで報告してください。

オーストラリア・オリンピック・コネクト・プログラム ともだち2021

国際交流班ユニット(前期・後期生共に対象)ではオーストラリアの学校とオリンピック主催国・日本の学校との交流を開始します。期間は5月初旬から9月頃までを予定。開成生徒とオーストラリアの学生が、お互いの文化と伝統について学んでいきます。
詳しくは国際交流班担当:平岩先生へ。

＊＊

カナダ:モスクロップ高校との交流募集！

2020年1月、カナダ・アジア太平洋財団(APFC)が実施するプログラムに本校生徒12名が参加、カナダ・バンクーバーのモスクロップ高校へ訪問しました。同年3月にはカナダ生徒が来札する予定でしたがコロナ禍のため中止となっていました。この度、モスクロップ高校生徒とのonline交流を**6月上旬に2回**、行うことになりました。**「英語でカナダの生徒と積極的に交流したい、語りたい」**という高校生を募集します。

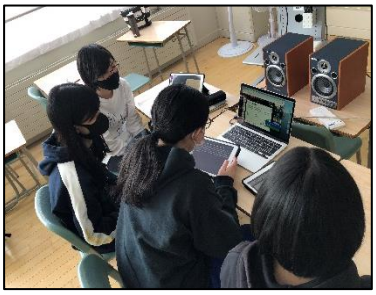
1．日時：6月8日(火)1セッション目、6月11日(金)1セッション目
2．交流内容：各校より学校文化紹介。小グループに分かれテーマを設けdiscussion。
3．事前研修(予定)：5月20日(木)・27日(木) 放課後1時間程度
4．事後研修(予定)：6月17日(木)　放課後1時間程度
5．定員：２５名程度。2020年の研修に参加した生徒は基本的に必須。
6．選考方法：志望理由書(1階国際交流コーナーにあります)
7．提出期限：5月6日(木) 16:45迄 【キャリア支援部・国際担当：三角・藤井へ】

＊交流日は公認欠席となります。教科担当の先生と相談し自分の授業の支障にならない事が優先です。事前研修2回、交流2回、事後研修1回の全てに参加することが条件です。

2020 年度の国際交流に参加した生徒からの報告（SSH：タイプロジェクト）

SSH 指定校である本校は、毎年、タイで開催される「タイ・日本高校生サイエンスフェア TJ-SSF」に参加しています。王立プリンセスチュラポーン科学高校は国内各地に 10 校あり、タイ国内でもトップレベルの中高一貫校です。本校はプリンセスチュラポーン科学高校ピサヌローク校（タイのちょうど真ん中の古都にある学校）と姉妹校提携を結んでいます。当初は 2020 年 6 月にトラン校（プーケット島で有名な南の地域にあります）で開催を予定していたのですが、コロナ禍の世界的蔓延のため、12 月にオンラインでの実施となりました。本校からは現6年生2チームが、「コズモサイエンス」の研究成果を英語で発表、質疑応答に挑みました。現6年生からの報告です。

・日本語のポスターを作るときには、発表対象が日本人でしかも同級生なので、「ここは少し曖昧でも分かってもらえるだろう」と無意識に妥協してしまう部分があった。しかし、このタイのプロジェクトを通して、英語で、しかも全く見ず知らずの人に対して発表することを意識しながらポスターやプレゼンを作ると、自分たちの研究の曖昧な部分や妥協していた部分が明確になって、より緻密かつ論理的な発表を作ることができた。例えば、地震大国である日本では地震対策は身近な問題だが、地震の少ないタイでは地震対策はあまり身近ではない、という文化的コンテクストの違いがあったため、私たちの研究の必要性を示すために日本で地震が起きやすいこと、現代主流になっている建物を頑丈にする方法以外に「建物を柔軟に」することで地震による影響を抑えることができることを丁寧に説明できた。しかし、まだ曖昧なままで突き詰められていない部分があるので、来年度からのコズモエッセイの時間を使いながらさらに研究を深めていきたい。



・日本の他の地域やタイで暮らす同じ世代の子どもたちがどんな研究をしているのかを知れて、とても刺激になった。特にプレゼンの作り方の点でタイの子どもたちの発表が参考になった。日本人が作るスライドは文字が多く、要点がつかめないことが多いが、タイ人が作るスライドはイラストが多く、実験方法が非常に分かりやすいものが多かった。スライドを使って発表するときは、要点をキーワードでまとめ、なるべくイラストや表、グラフを多く使うことを意識的に行なっていきたい。

・とにかく楽しかった！タイの人はみんな明るいし優しいし話しやすい。1 回目のリハーサルで Google アカウントの作り方が分からなくて困っていた時、2 時間くらい一生懸命教えてくれたスタッフの人には本当に感謝しています。オープニングセレモニーやクロージングセレモニーの時も、例年通りの交流はできなかったけれど、タイの伝統的なダンスや衣装を見ることができて、タイに行った気分になれた。でも、日本からの文化紹介ビデオはもっとちゃんとしたものを送りたかった。書道や着物、和食、神社仏閣、日本舞踊など、もっと日本の伝統的な文化が伝わるものを送って見てもらいたかった。色々大変なことや困ることもあったけれど、参加して本当に良かったと思う。

・日本の文化と深く結びついたテーマを取り扱ったため、タイの方々にどこまで説明すれば良いのかという点において考えることが多かった。 自分たちが常識だと思って説明しようとしていたことを、伝わるかな?という視点で見ることが出来た。 ・用意していただいたプログラムはどれも楽しいもので、直前まで自分が上手く参加できるか不安だったが、2 日間最後まで楽しむことが出来た。 特にコロナ禍で実際に対面して発表やフィールドワークを行うことが出来ない中でもオンラインで様々な体験をすることが出来て、有意義な 2 日間を過ごせた。

AFS で北海道地区に来ている留学生とのオンライン交流イベント　4 月 29 日(木)20:00～22:00

南米(2 名)、ヨーロッパ(1 名)の高校生が自国の紹介をし、皆さんの質問に答えます。対象は中学生・高校生。　希望者は①学校名・学年、②名前（ふりがな）、③メアド、④行ってみたい国（いくつでも）を書いて info-sapporo@afs.or.jp へ。　〆切 4 月 27 日 20:00 まで。　前日までに折り返し Zoom の URL の連絡が来ます。　（国際交流コーナーにも掲示あり）